

清里フォトアートミュージアム (K・MoPA)

展覧会開催のお知らせ

2015年度ヤング・ポートフォリオ

Young Portfolio Acquisitions 2015

選考委員：森山大道、北島敬三、細江英公(館長)



高倉大輔 TAKAKURA Daisuke (日本、1983) 《monodramatic / crowd》2014 (全6点収蔵)

開催概要

展覧会名：2015年度ヤング・ポートフォリオ

会 期：2016年3月19日(土)～6月19日(日)

休 館 日：毎週火曜日(5/3は開館)、3月18日(金)までは冬期休館

会 場：清里フォトアートミュージアム

開館時間：10：00～18：00 (入館は閉館30分前まで)

入館料： 一般 800円 (600円) 学生 600円 (400円)

中・高生 400円 (200円) 友の会・会員 無料

() 内は20名様以上の団体料金 家族割引あり (2名以上～6名様まで)

交通のご案内 車にて：中央自動車道須玉I.C.または長坂I.C.より車で約20分

J R：中央本線小淵沢駅にて小海線乗り換え 清里駅下車、車で約10分

清里フォトアートミュージアム（館長：細江英公）は、1995年に開館した写真の美術館です。当館の活動の中で、最も重点を置いている**ヤング・ポートフォリオ(YP)**は、毎年35歳以下を対象に公募を行い、選考ののち、優れた作品を当館のパーマネント・コレクションとして購入することによって世界の若手作家を支援する活動です。通常、コンテストの入賞は1度限りですが、YPは、表現意欲の高い作品を、35歳まで何度も公募し、成長を見守ります。作家の世界観や芸術性を表現するポートフォリオ（作品集）となるように、一枚だけでなく複数の写真を収蔵することが特徴です。YPは、若者の才能の真価を世に問い、後世に伝える、世界で唯一の企画です。

●1995年度から2015年度までの応募数：9,708人 117,890点
作品を収蔵した数：743人（45カ国） 5,656点

■2015年度ヤング・ポートフォリオ（第21回）データ

選考委員：森山大道、北島敬三、細江英公(館長)

作品募集期間：2015年4月15日～5月15日

応募者数：242人（世界30カ国より）

応募点数：5631点

購入者数：36人(国内19人・海外17人 / 11カ国)

韓国/バングラデシュ/ブラジル/タイ/台湾/ポーランド/ロシア/ウクライナ/
アメリカ/インド/カナダ

購入点数：196点（全作品を展示いたします）



同時展示①
選考委員の
初期作品

●選考委員の初期作品を全15点（各5点）を同時に
展示いたします。

（写真は選考風景。左から、森山大道、細江英公、北島敬三選考委員）

■YP2015選考委員・森山大道評「怒濤のフレキシブル。」

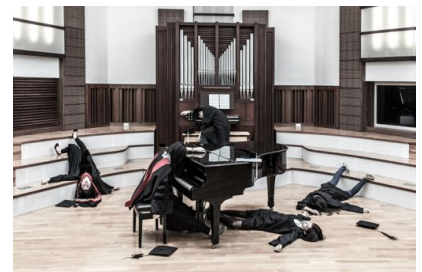
「昨年の選考では、いまやここまでやってるんだと圧倒されて、むしろ嫉妬したね。今年思ったのは、『写真って何なんだろう』というベーシックな問い。つまり、写真を写す、作品を作るにあたって、既成の概念や方法、イメージに全くとらわれていない彼らの姿勢と意識。まさに怒濤のフレキシブル。」

YP2015選考委員・北島敬三氏は、「“レベル”などという言葉が使えないような塊として、（作品全体の）密度が高いなと感じました。YPの活動は（若い作家の発表メディアの）受け皿になっているし、制作援助という面も現実的には強い。ユニークで先見性のあることだと思う。」

■YP2015の見どころ

●<境界>へ挑む作家たち

本リリース表紙の高倉大輔の《monodramatic》シリーズは、「一人芝居をモチーフに、自分自身とのコミュニケーションを通し、人が持つ多様性、多面性、可能性について、現代には欠かせないデジタル技術を用いて、それに対する息苦しさのようなものを時折感じながら作成した作品群」です。写真とデザイン、演劇をボードレスに行き来していると言う高倉の制作現場では、カメラを三脚に固定し、モデルとコミュニケーションしながら写真家が演出をつけ、即興劇をするように撮影されます。



YP2015の作品には、デジタル技術や強烈な演劇的ディレクションを用いることによって、現実とバーチャルの境界を超え、日常の風景を変容させようと試みる作品が多く見られます。

上) ウォン・ウェイ・チョン (台湾) 《卒業生の死 (音楽学部)》2014

下) シム・チャン (台湾) 《檳榔樹 (びんろうじゅ) 売りの少女》2013



●若いチカラ：初登場 1990年代生まれの作家たち

新鮮なエネルギーとインパクトを見せつける、初登場でYP2015の中でも年少の作家3人をご紹介します。鶏の足と有名ブランドロゴとの組み合わせを丁寧に仕上げた韓国のミンヒー・アン（1991生、24歳）「アバンギャルド。モノ作りの狂気。」（細江館長評）ロシアのエリザベス・ハウスト（1992生、23歳）は、一枚一枚の持つ物語の空気感が謎めいて、選考委員全員をうならせました。そして、日本の中悠紀（1991生、24歳）のスピード感あふれるスナップワークには、「路上スナップは意外と難しい。今のパリをよく押さえた。」（森山委員評）と、それぞれ高く評価されました。



上) ミンヒー・アン (韓国) 《あなたの手 #1》2014
 下左) エリザベス・ハウスト (ロシア) 《散々な日々》2012
 下右) 中悠紀 《paris》2014

●YP2015に見る世界の<現在> — ヤズディ教徒を捉えたフェルドゥスと林典子

優れた写真家が多く輩出され、ひたむきに自国や世界の現状を見つめ、競うように写真表現を追求するバングラデシュの写真家たち。毎年の選考委員も高く評価しています。

バングラデシュの若手、イスマイル・フェルドゥス（1989生、26歳）は、2014年10月「イスラム国」に砲撃されたシリアのクルド系少数民族のヤズディ教徒が、シリア北部アレッポ県コバニ市から追放され、難民となってトルコ国境を目指す事態を撮影。細江館長は「聖書のようなだね。このクラシシズム。かつてイタリアの画家が描いたような……これは大名作になりうる。」と絶賛しています。

右上) イスマイル・フェルドゥス《イスラム国に包囲されたコバニの住民》2014



また、日本の若手フォトジャーナリストとして世界で活躍する写真家、林典子（1983生、32歳）が2015年3月に撮影したのは、イスラム国に拉致された後、人身売買され、性的虐待を受けたヤズディ教徒の女性たち。被害者の女性一人一人と向き合い、語られた言葉を記した林典子。どちらも、起こってはならないはずの現実を私たちに伝えてくれます。

右) 林典子《ヤズディ》2015



●今年でYPを“卒業”する35歳の作家たち

今年35歳（1980生）でヤング・ポートフォリオを“卒業”となるのは8人。24歳だった2004年から2015年度までの間、9回・全52枚が収蔵となった今村拓馬の作品は、子供たちの写真でした。自宅で捉えた自然体の写真からは、現代の子供らしさとは、彼らの幸せとは…… 静かな問いかけがじわじわと迫ってきます。YP2015では、4-5年前に撮影した子供たちを再度撮影し、成長を見せる《chronicle》（クロニクル）シリーズで、流れた時間の重みを見せています。また、初めての収蔵から約10年が経過した岡原功祐、田代一倫も、今回は、東日本大震災を異なる視点で捉えた作品を収蔵いたしました。



April 4,2009

After 1456 days

March 31,2013

左) 今村拓馬《chronicle》2008-2013



左) 田代一倫 《はまゆりの頃に #21》
2011
中) 田代一倫 《はまゆりの頃に #28》
2012
右) 岡原功祐 《Fragments /
Fukushima》2011

同時展示②

YPを“卒業”した作家=YPOB

YPを35歳で“卒業”した作家たちは、今どのような作品を手がけているのか。K・MoPAでは、“YPOB”の活動にも注目し、作品を収蔵しています。



YPOB佐藤信太郎(1969生、47歳)は、肉眼ではなく、写真でしか見る事のできない東京の街景を大型カメラでとらえる作業を続けています。YP卒業後に制作した《非常階段東京》《東京天空樹》シリーズを、YP時代の作品の一部と同時に展示いたします。佐藤氏が何を見つめ、作品がどのように発展して来たのかをご覧ください。ことができます。

佐藤信太郎《東京天空樹 江戸川区平井2013年1月28日》2013

■2015年度ヤング・ポートフォリオ(第20回) 作品購入作家

★は過去にもヤング・ポートフォリオで作品を収蔵した作家。全36人のうち、16人(約4割)は過去のYPでも作品を収蔵しています。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1 ■ミンヒョ・アン(韓国、1991) | 19■松井泰憲(日本、1980) ★ |
| 2 ■K.M.アサド(バングラデシュ、1983) ★ | 20■ないとう ようこ(日本、1983) ★ |
| 3 ■ジュリオ・ビッテンクール(ブラジル、1980) ★ | 21■中 悠紀(日本、1991) |
| 4 ■ナタポン・チャイウオラワ(タイ、1986) | 22■西村隆史(日本、1980) |
| 5 ■シム・チャン(台湾、1983) | 23■岡原功祐(日本、1980) ★ |
| 6 ■アリツィア・ドブロツカ(ポーランド、1985) | 24■ラッセル・スコット・ピーグラー(アメリカ、1980) |
| 7 ■イスマイル・フェルドゥス(バングラデシュ、1989) ★ | 25■ナンディタ・ラマン(インド、1980) ★ |
| 8 ■エリザベス・ハウスト(ロシア、1992) | 26■ダレン・リーゴ(カナダ、1988) |
| 9 ■林典子(日本、1983) ★ | 27■坂口真理子(日本、1987) ★ |
| 10■今村拓馬(日本、1980) ★ | 28■田口昇(日本、1980) ★ |
| 11■石倉徳弘(日本、1984) ★ | 29■高倉大輔(日本、1980) |
| 12■Shinya Itahana(日本、1980) ★ | 30■田代一倫(日本、1980) ★ |
| 13■岩本 悟(日本、1982) | 31■東京るまん℃(日本、1980) |
| 14■加藤圭祐(日本、1983) | 32■富谷昌子(日本、1981) |
| 15■北田祥喜(日本、1987) ★ | 33■弓場井宜嗣(日本、1980) |
| 16■マリヤ・コジャノヴァ(ロシア、1986) ★ | 34■ウォン・ウェイ・チョン(台湾、1984) |
| 17■ウラディスラフ・クラスノシヨク(ウクライナ、1980) | 35■ドロタ・ウルブレスカ(ポーランド、1981) |
| 18■ハオ・リー(台湾、1981) | 36■アリョーナ・ランダーロワ(ロシア、1988) |

YPデータベース公開中

収蔵作品画像のほか、作家略歴、アーティスト・ステートメントを掲載しています。作家名、収蔵年、国籍などで検索することができます。過去20年にわたる世界の若手写真家の作品を、様々な調査・研究の対象としてもご利用いただければ幸いです。

URL : <http://kmopa-yp.com/Opac/search.htm?s=xIHniRviA-yMGxumjv7tkpfmhzo>

YP公開レセプション
+ ギャラリートーク

- 5月28日(土) 午後2時～4時 (予定)
- 講評：森山大道、北島敬三、細江英公 (館長)
- (入館料のみ / 定員なし *友の会・会員は無料)
- 会場：清里フォトアートミュージアム 要予約

本年度作品を収蔵した作家にK・MoPA永久保存証書を授与した後、作家によるギャラリートークと同時に3人の選考委員による講評を行います。どなたでもご参加いただけます。
写真下：昨年のレセプションにてギャラリートークを行うセルゲイ・レベディンスキー (ウクライナ)



会期中のイベント

「K・MoPAで星をみる会」

テレビ・ラジオでお馴染み、国立天文台の縣秀彦先生を講師にお迎えし、天体の不思議を、初めての方にもわかりやすく解説いただきます。雨天・曇天でも映像&レクチャーをお楽しみいただけます。

- 日時：4月17日 (日) 午後6時30分～8時
 - 参加料：1000円 要予約 定員15名 友の会会員は無料
 - 講師：縣秀彦 (あがたひでひこ)
- 自然科学研究機構国立天文台普及室長、天文情報センター室長 准教授、NHK「ラジオ深夜便」第二週日曜日レギュラー



YP2016
作品募集

2016年度ヤング・ポートフォリオ(第22回)

今できる限りのものを見せてほしい。
今の挑戦が未来のあなたを強くする。

2016年度選考委員：張照堂 (台湾)、北島敬三、細江英公(館長)

- Web登録受付期間 & 応募作品受付期間：2016年4月15日～5月15日
- 応募要項の概要・応募資格は35歳までを上限とします。(1981年1月1日以降に生まれた方)
 - ・既発表・未発表を問いません。他のコンテストへの応募作品・受賞作品も応募可能です。
 - ・作品の表現、技法は問いませんが、永久コレクションのため、長期保存が可能な技法であること。
 - ・選考された作品は、1点につき3万円以上で購入します。
- 詳しい応募要項は：<http://yp.kmopa.org/>

★初めて海外から選考委員を迎えます。

<張照堂・略歴> CHANG Chao-Tang

1943年生まれ。台湾の戦後世代を代表する写真家の一人。1950年代より、台湾固有の伝統や西欧のアバンギャルドなモダニズムなど、様々な影響を受け、既成の枠に当てはまらない独自の世界を生み出している。1970年代より海外での発表を重ね、台湾のアーティストとして最も名誉ある国家文芸賞(1999)、行政院文化省(2011)を受賞。この両方を受賞したのは、張が初めてである。2013年台北市立美術館にて初の回顧展「Time: The Images of CHANG Chao-Tang」(歳月：張照堂 影像展)が開催され、2015年には「さがみはら写真アジア賞」を受賞した。

お問い合わせ

- 掲載用画像データについては、事務長・小川、広報・前島までお願いいたします。
ogawa@kmopa.com Tel:0551-48-5598
 - ホームページ <http://www.kmopa.com>
 - ツイッター <https://www.twitter.com/kmopa>
 - facebook <https://www.facebook.com/kmopa>
- 〒407-0301山梨県北杜市高根町清里3545-1222 清里フォトアートミュージアム
Tel: 0551-48-5599 (代表) Fax: 0551-48-5445 info@kmopa.com